

目黒区男女平等フォーラム2021

開催日時:2021年11月13日(土) 10時~12時/14時~16時
開催場所:中目黒スクエア2階(中目黒住区センター第5・6会議室)
参加費等:無料/一部事前予約

企画イベント
(10時~12時)

「自分らしく生きる」を考えませんか?

講演会
(14時~16時)

「女らしさ・男らしさって何?」

~ジェンダーバイアス

日常に潜む私たちの『当たり前』を考えよう~



検温、手指消毒、人数制限と万全のコロナ対策を講じ、11月13日(土)に中目黒スクエアで2年ぶりの目黒区男女平等フォーラム(テーマ『自分らしく生きやすさって何だろう?』)が開催されました。

午前中は企画イベント。『自分らしく生きる』を考えてみませんか?のテーマ下、ポスターセッション・マザーズハローワーク東京の出張相談・アクリルたわし作り・除籍本無料配布と盛り沢山の内容でした。コロナが一段落し、当日は天気にも恵まれ絶好の行楽日和となったためか、開始直後は来場者が少なかつたものの、時間を追うごとにアクリルたわし作りやポスターセッションの周りには人垣ができていました。季節柄、アクリルたわし題材は「クリスマスツリー」が人気でした。ポスターセッションは、来場者が気になるテーマのポスター前で作成者と熱く語りました。ポスターのテーマは、教育と男女共同参画・小中学校から性教育を・LGBTQ・男性・選択的夫婦別姓・SDGs目標5・ジェンダー平等と、多岐にわたっていたことで、来場者の方と色々な角度から意見交換をすることができました。

午後の部開場直後には青木区長も来場し、ポスター作成者一人一人からの説明を熱心に聞いてくださいました。区長のテーマ毎への的確な質問や感想を聞いていると、区として男女参画に真剣に取り組んでいる姿勢が伝わってきました。

午後はメインイベント、弁護士太田啓子先生による講演会、「女らしさ・男らしさって何?」ジェンダーバイアス 日常に潜む私たちの『当たり前』を考えよう~が、定員一杯の参加をいただき開催されました。先生の著書を読んだ運営委員が、「是非この先生のお話を直接聞きたい!」と強く思い、夏からラブコールを送り念願がなつての開催となりました。生憎、先生のご事情によりオンラインでの御登壇となりましたが、画面越しでも先生の熱い思いはひしひしと伝わってきました。2020年に発売された先生の著書『これからの男の子たちへ「男らしさ」から自由になるためのレッスン』を題材に、「①「男らしさ」の呪いから自由に生きてほしい、②性差別構造の中では「男性」というマジョリテイとしての特権を持っていることを自覚し、マジョリテイとして性差別・

性暴力に積極的に抗ってほしい。とこれからの男の子たちへのメッセージが送られました。先生「自身も男子の母親で、説明が具体的に私たちの心に深く残りました。内容は著書だけにとどまらず、日本のジェンダーギャップから性教育にまで及びました。『あらゆる差別問題で、自分がマジョリテイ側である時ほどその問題が見えづらいことへの自覚が必要』という言葉聞いて、差別や思い込みの種は人の心の中で芽を出し、無意識のままに育ててしまつ、とハツとさせられました。質問タイムでは予想以上の質問が寄せられ、先生も個々の質問に丁寧に答えてくださり、終了時間をオーバーしたことも忘れのほど充実した内容でした。

除籍本を手にとってくださいる方も多く、本が第二の人生に巣立っていききました。

コロナ禍、目黒区男女平等フォーラム2021は無事に終わることが出来ました。が、来年はコロナも終焉し、対策無しで自由闊達にワイワイと語り合える会になることを切に願っています。

